

**平成22年度「個人情報取扱事務に関する実地検査報告書」が
個人情報保護に関する第三者評価委員会から提出されました**

本市における個人情報の漏えい事故等の再発防止及び個人情報の適正な取扱いを確保するため、各職場における個人情報の取扱状況について、第三者の視点で実地検査を行い、問題点等を指摘していただくため、横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会を設置しています。

このたび、公立大学法人横浜市立大学の入試業務を所管するアドミッションズセンター及び大学教務事務を所管する学務・教務課を検査対象として行われた、個人情報取扱事務に関する平成22年度実地検査の結果が委員会意見としてまとめられ、本日（11月24日）市長あてに提出されました。

今後、改善意見に対して必要な措置を講じ、その結果を委員会に報告します。また、報告書の内容は各職場に周知し、それぞれの業務に役立てていきます。

【実地検査の概要】

検査日 平成22年7月29日(木)

検査対象 入試業務及び大学教務事務

(公立大学法人横浜市立大学 アドミッションズセンター及び学務・教務課)

検査方法 検査対象から直接説明を受けるとともに、業務の現場に立ち入り職員からヒアリングするなどの方法により、業務の現場における個人情報の取扱状況を実地に検査した。

【実地検査結果の概況～総評～】

- ・外部との個人情報のやりとりについては、ルール制定、事務の工夫など、おおむね適正に管理されていた。
- ・大学キャンパス内所管課間における個人情報提供事務について、不明確な部分があったため、取扱方法を明確化し適正管理に努められたい。
- ・横浜市立大学統合業務システムに関して、機能そのものに対する使用権限の見直しや機能利用時の審査・承認ルール等の構築について検討を進められたい。

= 検査結果の概要（改善意見等）は裏面参照 =

委員会の概要

主な業務	(1) 検査基準の策定	
	(2) 個人情報を取り扱う各課が行う個人情報取扱事務に関して定期的に実地検査を行う。	
委員	(3) 個人情報を取り扱う各課が個人情報を不適切に取り扱っているとき、又はそのおそれがあるときに随時に実地検査を行う。	
	(4) 実地検査の結果について市長等に意見を述べるとともに、市長等から改善結果の報告を受ける。	
	森谷 亘暉	1 産業能率大学名誉教授（経営情報論）
	高橋 良	2 弁護士（横浜弁護士会情報問題対策委員会委員長）
	半田 彰	株式会社横浜銀行リスク統括部コンプライアンス統括室室長
	三上 雅之	元東京都監査事務局次長（特別監査室長）
塩入 みほも	3 駒澤大学法学部政治学科准教授（行政法）	
上野 可南子	3 コンサルティングオフィスU & K代表、中小企業診断士	
委員長、委員長職務代理者、		1 横浜市個人情報保護審議会委員と兼務 2 横浜市情報公開・個人情報保護審査会委員と兼務(平成22年7月1日委嘱) 3 平成22年4月1日委嘱

お問い合わせ先

市民局市民情報室 担当課長 丸畠 聡 Tel 045-671-3881

平成22年度個人情報取扱事務に関する実地検査報告書【概要】

【報告書の内容】

委員会の意見は、1 改善を求めるもの、2 評価するもの及び3 提案事項の3種類に分類されている。主な内容は以下のとおり。

1 意見（改善を求めるもの）

(1) 他課からの個人情報提供依頼に対する判断基準策定【共通】

手続面では適正運用されているが、提供可否を判断する基準が明確化されていないため、判断基準の整備を検討されたい。

(2) 他課に提供した個人情報の取扱いルール策定【学務・教務課】

提供後の個人情報取扱いについては申請者の裁量に委ねており、管理が行き届かない状況にあるため、回収・廃棄等運用ルールを検討し策定されたい。

(3) 横浜市立大学統合業務システムにおけるアクセス権限の適正管理【学務・教務課】

アルバイト職員にも一般職員と同等のアクセス権限が設定されているが、メニュー制限するなど、必要の無い個人情報へは物理的にアクセスできないような運用を検討されたい。

2 意見（評価するもの）

(1) 入試資料の持ち出し管理【アドミッションズセンター】

個人情報を特定できないデータに加工し、管理簿による持ち出し・返却管理を行い、「要回収資料」と明示するなど、持ち出しから回収まで適正に管理し、万一の紛失・盗難に対しても対策されている。

(2) 成績票の発行、発送業務における個人情報の適正管理【学務・教務課】

成績票本体にあて名印刷し、窓開き封筒に入れて発送するため、あて名ラベル貼付作業やラベルと送付資料の学生名の突き合せも発生せず、作業効率と誤送付防止が両立されている。

3 提案事項

(1) 横浜市立大学統合業務システムにおける書き出し機能に関するセキュリティ強化【共通】

個人情報を取り扱うシステムにおいて、データ書き出しが可能となる機能は非常に大きな管理上のリスクとなり得るため、例えば、機能使用時のシステム上承認手続や、アクセス権限の適切な設定など、厳格な機能管理・権限管理を検討されたい。

(2) 終業点検簿の導入【学務・教務課】

終業時のキャビネット施錠等について、チェックリストによる確認項目明確化がなされていないため、終業点検簿等を策定し運用することを検討されたい。

(3) アルバイト職員の守秘義務明確化【共通】

アルバイト職員も職務遂行において個人情報を取り扱うため、就業規則で守秘義務を課すだけでなく、守秘義務契約書のような形式で明確化することを検討されたい。

【参考 報告書提出までの経緯】

平成17年10月1日 横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会の設置

平成22年7月13日 検査対象に関する業務説明

平成22年7月29日 実地検査（公立大学法人横浜市立大学）

平成22年9月16日 委員会で報告書の内容を検討

平成22年11月24日 森谷委員長から報告書を提出